

GO! 剛! ニュース21号は「世界的に発展繁栄が約束されている市場」といわれる観光についてです。



観光立市・宗像となるために

平成29年は世界文化遺産登録決定、世界環境100人会議、豊かな海づくり大会が同年に開催され「宗像ビッグバンが起こっている」と称されました。

このビッグバンは根底に、宗像の地にある霊性（スピリチュアリティ）、精霊信仰（アニミズム）、生態（エコロジー）という基本精神を持ち、この偶然とは思えない共時性は宗像が進むべき道を示唆していると同時に、観光立市への道を切り開いたと考えています。

「観光立国に必要な不可欠な4条件は、気候、自然、文化、食事であり、日本はそれを満たす希有な国」といわれていますが、宗像はさらに歴史ロマンの物語性と世界に認められた精神性をもち大きなポテンシャルがあります。

観光を地方の成長エンジンにしようとする地方創生の方向性を活用し、官民共に思いきった投資を行うことが必要ですが、「来るかどうかわからないのにお金をかけて整備できない、観光客がふえたら整備すると言うが、整備されていないところに観光客はやってこない」というハードルがありました。

宗像ビッグバンはこの需要と供給のハードルを乗り越える千載一遇のチャンスとなります。

私は東海短大の観光文化研究所による観光経済効果調査でデータ収拾と分析を行い、誰に、どのように宗像を見せ、お金を落とすかというマーケティングを行い、観光コンテンツを強化する投資を行い、リピートする仕組みをつくる。そのためにもDMO（観光地域づくりの舵取り役として戦略を策定実施するための調整機能を備えた法人）の形成が必要、と提案をしてきました。

現状の受け入れ態勢は万全とは言えませんが、官民共に対応し、今後の躍進が期待されます。そこで、短中長期における宗像の観光の姿を考えました。



もし沖ノ島の海上遙拝ツアーをやるとしたら

- 1日目 宗像大社に申し込み、お参り。歴史と信仰のレクチャーを受けて、市内に宿泊
- 2日目 大島に渡り、中津宮にお参り。沖ノ島を守ってきた漁師さんの家に民泊
- 3日目 大島の漁師さんの船で沖ノ島を海上遙拝。「知識、そして心身を整えてから沖ノ島に近づき遙拝を行います。ゆっくりした時間を過ぎて太古の時代の先人たちを想像しましょう」と設定することで希少価値のあるツアーとなり理解が深まると思います。

宗像の観光の未来予想図は？

1年後▶ 希少性のブランディングを確立させる

宗像の観光とは従来型の観光地とは違います。行けない沖ノ島、見えない畏敬崇拝する心を希少価値のあるブランドとします。手に取れない、目に見えないからこそ想像し、自分の内面と共鳴できる独自のスタイルを打ち出します。宗像にある霊性、精霊信仰、生態という古代から連綿と続く自然循環と精神文化を共通認識として、来訪者がそれを理解できる、宗像と聞くとそれをイメージできるというブランドとして確立します。

3年後▶ 希少性の物語を確立させる

世界遺産ブームは去り、リピーターが訪れるようになり、本当の宗像の観光が始まります。精神文化と太古からの歴史ロマンあふれる宗像には、現代社会が失いかけている、あるべきものがある。自然と悠久の時間を感じて、自分と向き合い、日本人がもともと持っていた感覚を思い出し安心感を得る。生命の循環を感じて環境問題を考える。という物語を確立させます。そして、人生の岐路には道を司る神である宗像大社に参るために宗像を訪れ、ゆっくりとした時間のなかで、いまま

で、そしてこれからの生きる道をじっくりと考えることが出来る場となります。

10年後▶ インバウンドを受け入れ、国際都市としてアジアの玄関口となります。日本で学ぶ学生が選ぶ最初のまちとして留学生を受け入れ、人口と労働力を維持します。グローバル人材が育ち、宗像から世界を行き来し、コンテンツは産業化し、観光立市となります。

宗像ビックバンにより大きな可能性が生まれました。新しい宗像は人も街も、この精神文化を抛り所に道を進むべきだと感じています。



「遥拝」とは遥か遠くから拝む、ということです。自然条件と位置が整えば水平線上に神宿る島・沖ノ島の姿が望めます。風景に神秘を感じて、想像は膨らみます。

ご意見、ご感想などメッセージ頂ければ励みになります！

 日々の活動はfacebookにて
fb.me/goyo4da

 吉田ごうのホームページ
non3.jp/yoshidago

 一般質問の会議映像は
宗像市役所HPにて

宗像市議会議員 吉田ごう

昭和48年 3月、宗像市田熊生まれ
東郷小学校～中央中学校卒業
平成3年 宗像高校卒業
平成8年 福岡大学経済学部卒業
平成8年 株式会社トランスオービット(旅行業)
入社、平成24年6月退社
平成24年 10月、宗像市議に初当選
平成28年 宗像市議に再選を果たす
現 在 宗像市久原に在住
総務常任委員会 委員長
議会運営委員会 副委員長
自民党宗像市支部 青年局長
東郷地区青少年指導員会長

吉田ごう 議員活動ダイジェスト

- 7月 山笠の季節です。東郷小学校にはゲストティーチャーとして山笠教室を行っています。年々、子ども達の理解と盛り上がり深まっています。
- 8月 第4回宗像国際環境100人会議が行われました。強く感じたのは人の力です。何かの縁があり、それぞれの能力、経験、思いを持って宗像に集まり、環境を語り交流する人々、その人々の力に、ここから何か起こるのだという未来へのエネルギーを感じました。
- 9月 定例会では総務委員会で指定管理、予算委員会では平成28年度決算を認定しました。